



# プロジェクトニュース

## シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

「プロジェクト2年目が始動!」号

2017年11月9日号 (Vol.49)

2016年8月から、CDCDプロジェクトではエボラ復興支援に取り組んでいますが、今年8月に入り2年目の活動が始まりました。プロジェクトの1年目は、ポートロコ県、カンビア県（右図の薄茶色部分）において、エボラ復興パイロットプロジェクトを実施してきました。2年目は、対象県を北部州のボンバリ県、トンコリリ県、コイナドゥグ県（右図の水色部分）に広げ、1年目の活動の教訓を活かしてパイロットプロジェクトを実施し、新規対象3県の県議会職員の能力向上を目指しています。

プロジェクト2年目の始動に合わせ、これまでポートロコ県議会に設置していたプロジェクト事務所はボンバリ県議会へ移動しました。ボンバリ県議会のあるボンバリ県マケニ市（地図上の★印の位置）は北部州の州都です。ポートロコ県と比べて随分栄えていて、電力事情も格段に良いです。

しかし、ボンバリ県議会はマケニ市の中心部から少し離れた場所に位置しており、人影もまばらで、少々寂しい印象です。静かで落ち着いて仕事ができそう…と努めてポジティブに考えていたのですが、街はずれということが災いしたのか、事務所内でインターネットが使えない（インターネットのシグナルを受信できない）という事態に見舞われました。

なぜか県議会の建物横のマンゴーの木陰だけが奇跡的にインターネットを受信することが判明しました。ネット環境が整うまでの間、写真のように木陰でメールの送受信をしていました。このようなのどかな雰囲気の中、エボラ復興支援のプロジェクト2年目のスタートを切りました。



シエラレオネ全体図



ボンバリ県議会の外観



マンゴーの木の下での仕事風景